

令和元年度 第2回北陸地方整備局 事業評価監視委員会

対象事業位置図

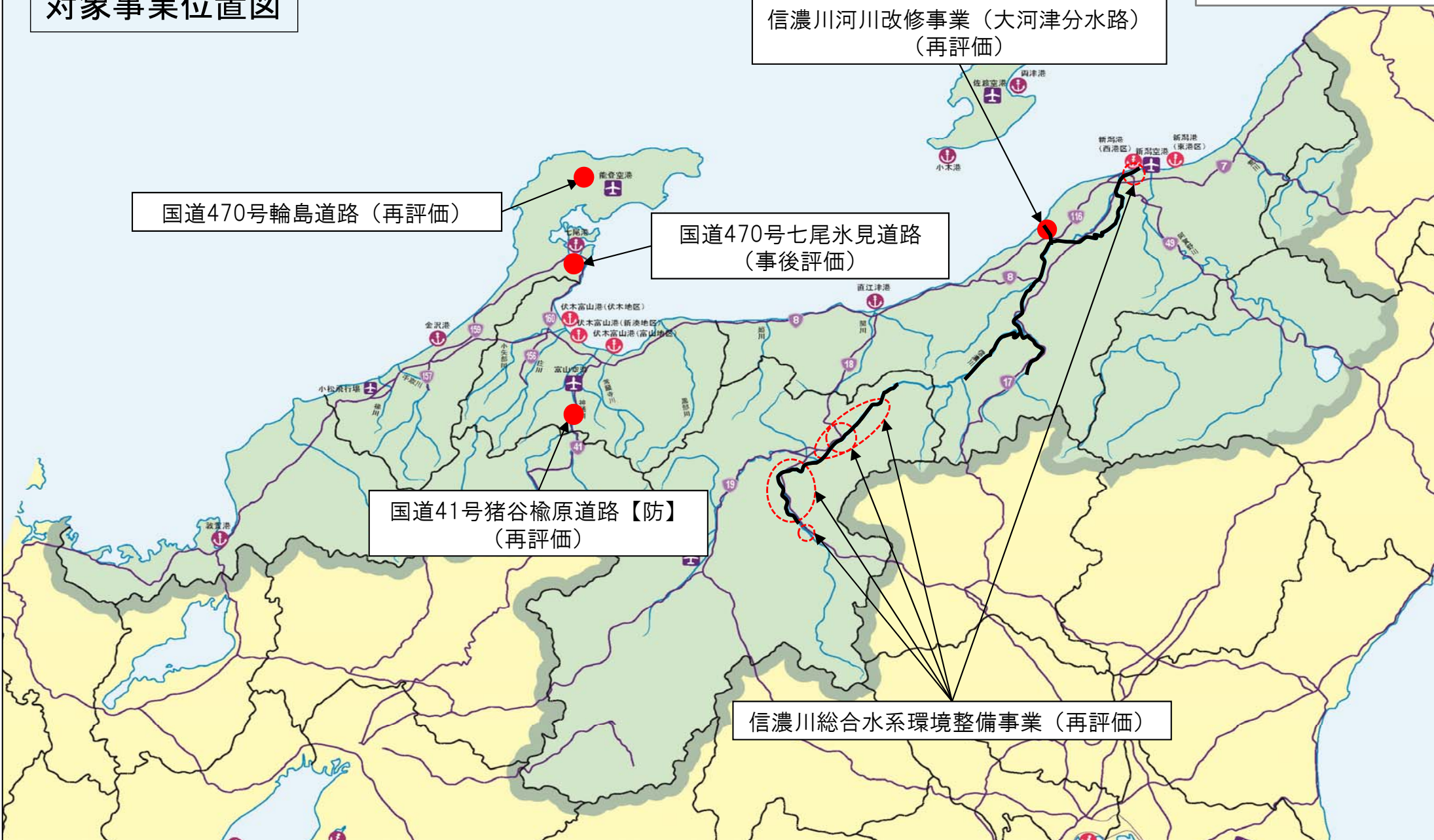
国道470号輪島道路（再評価）

国道470号七尾水見道路
（事後評価）

国道41号猪谷楡原道路【防】
（再評価）

信濃川河川改修事業（大河津分水路）
（再評価）

信濃川総合水系環境整備事業（再評価）



令和元年度 第2回北陸地方整備局事業評価監視委員会 審議案件の概要

【再評価】

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト縮減や代替案 等の可能性	前回再評価年度	該当要件	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業年数 上段:前回評価時 下段:現時点	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	感度分析 上段:前回評価時 下段:現時点		R1年度末までの投資額 見込み(進捗率)	事業の効果等	都道府県・政令市等の意見	対応方針 (原案)	審議区分	備考
3)河川事業の再評価																			
信濃川河川改修事業 (大河津分水路) (信濃川河川事務所)	新潟県長岡市、燕市	平成27年度 (2015年度) ～令和14年度 (2032年度)	・大河津分水路河口部の河積不足による水位上昇の影響で堤防が決壊し、氾濫が想定される区域にも住宅や工業団地が立地している。 ・世帯数、製造品出荷額は微増傾向であり、今後さらに発展が見込まれる。	・平成27年度より事業着手しており、用地取得率は、98%となっている。 ・山地部掘削では約53万m3(令和元年度末(予定))の掘削、第二床面の改築及び野積橋の架設等の工事を実施している。 ・令和元年度末(予定)の進捗率は事業費ベースで22%であり、令和14年度完了に向け事業実施中。	・信濃川上流部及び中流部では、戦後最大規模洪水流下時に計画高水位を超過する区間が存在し、治水安全度の向上が急務となっている。 ・大河津分水路の抜本的な改修による洪水対策の早期実現に対する地元からの強い要望もあり、今後も引き続き計画的に事業の進捗を図る。	・掘削土砂については、河川堤防の拡幅などの自ら利用の他、道路盛土、工業団地の造成、交流拠点の基盤等の周辺事業に有効活用することで、土砂処理費のコスト縮減を図っている。 ・新技術、施工計画の見直し等の検討により、一層のコスト縮減や環境負荷軽減を図っていく。 ・平成27年3月の新規事業採択時評価における各評価軸の評価に大きな変更要素は無いため、現計画(大河津分水路山地部掘削十河道掘削)により対策が妥当であると考ええる。	H26年度 新規事業採択	事業採択後5年間で継続中	約1,200	18年	【事業全体】 総便益B:1,978億円 総費用C:843億円 B/C=2.3	【残事業】 総便益B:1,978億円 総費用C:843億円 B/C=2.3	【事業全体】 B/C=2.1～2.6(需要量 ±10%) B/C=2.1～2.6(事業費 ±10%) B/C=2.2～2.4(事業期間±10%)	【残事業】 B/C=2.1～2.6(需要量 ±10%) B/C=2.1～2.6(事業費 ±10%) B/C=2.2～2.4(事業期間±10%)	約267億円(22%)	・山地部掘削、低水路掘削等により、整備計画の目標である戦後最大規模の洪水を流下させた場合の想定氾濫被害が解消される。 ・本事業は、広大な扇状地に集積が進んだ多くの人口や資産を洪水氾濫等による災害から守り、甚大な被害を防止・軽減させるだけでなく、信濃川水系全体の治水安全度の向上、本県の社会経済の発展にも大きく寄与するものであり、本県にとって大変重要な事業であると認識しております。 ・また、過去にも幾度となく洪水氾濫による被害が発生していることから、順次整備を進めていただいているところですが、令和元年の台風第19号では、既往最高水位を記録する洪水が発生しており、県民が安心して暮らせるよう1日も早い完成をお願いします。	事業継続	一括審議	※国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の適用について(通知)に基づき、B/Cは平成26年度評価時点
									約1,200	18年	【事業全体】 総便益B:1,978億円 総費用C:843億円 B/C=2.3	【残事業】 総便益B:1,978億円 総費用C:843億円 B/C=2.3	【事業全体】 B/C=2.1～2.6(需要量 ±10%) B/C=2.1～2.6(事業費 ±10%) B/C=2.2～2.4(事業期間±10%)	【残事業】 B/C=2.1～2.6(需要量 ±10%) B/C=2.1～2.6(事業費 ±10%) B/C=2.2～2.4(事業期間±10%)					
4)道路事業の再評価																			
国道41号 猪谷榎原道路 (富山河川国道事務所)	自:富山県富山市猪谷至:富山県富山市榎原	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成14年度工事着手	前回再評価以降、周辺に大きな社会情勢等の変化はない。	事業進捗率81% 用地進捗率100% (令和元年度未予定) 残事業の内容: 橋梁工事、改良工事	富山市猪谷から富山市片掛間において、猪谷橋(仮称)、片掛橋(仮称)の橋梁工事及び改良工事等を推進し、早期完成2車線供用を目指して整備を進める。	新技術の活用等により、コスト縮減を図る。	H29年度	社会経済情勢の急激な変化(事業費増加のため)	約360	25年	—	—	—	約316億円(88%)	①災害に強い道路ネットワークの形成 ②孤立集落の解消 ③冬期交通障害の解消 ④走行時間の短縮 ⑤交通事故の減少などが期待される。	事業継続に同意する。今後ともコスト縮減に努め、早期に効果が発現されるよう整備促進に格段の配慮をお願いしたい。	事業継続	一括審議	※防災面の効果が特に大きい事業
									約390	増額 8% 27年 延長 8%									

【事後評価】

事業名 （箇所名）	対応方針（案）		同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	事業化等年次	完成年次	全体事業費	全体B／C（事後）	備考
	今後の事後評価の必要性	改善措置の必要性						
1)道路事業の事後評価								
能越自動車道 国道470号 七尾水見道路 （富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所）	必要なし	必要なし	必要なし	平成8年度	平成26年度	約1,496億円	1.3	